

バスラ日誌(2月21日)

- 1 コーヒーと紅茶の話、続報。2日前にイギリス人は結構コーヒーを飲んでいるという話をしたが、今日新たな事実が発覚した。結論から言うと、イギリス人はやっぱり紅茶が大好きだということだ。では、なぜここでは紅茶をそんなに飲まないのか？今日、[]が美味しそうにエスプレッソ(例のマシーンで作った)を飲んでいたので、この前と同じ事を言ってみた(2月19日分バスラ日誌参照)。すると彼は「ここにはちゃんとしたミルクがないからしょうがないよ。」という。何のことだか分からず、更に詳しく聞いてみるとようやく意味が分かった。彼がいう紅茶(アフターヌーン・ティー)というものは、ちゃんとした紅茶の葉を、ティーポットに入れてつくり、これまたちゃんとしたミルクとレモンと砂糖を準備して、更にビスケットなどのティーに必要なお菓子類があって、初めてアフターヌーン・ティー、つまり紅茶を飲むということになるそうなのだ。彼曰く、「ここで紅茶(もちろんティーバッグの)を飲むよりも、コーヒーを飲んだ方が比較的美味しいから」紅茶はあんまり飲まないというのだった。話に加わった[]が「イギリスに来たら、本当の紅茶をご馳走してあげるわよ。」と一言。さすがアフターヌーン・ティーを作り出したイギリス人。その飲み方のこだわりも半端ではないと感心した次第である。
- 2 バスラABに対する、先日のロケット攻撃事案の調査結果が出た。既にサマワには報告済みであるが、107mmのロケット弾を、土手を使ったスレート屋根利用の発射台から時限装置を使って発射したものらしい。射距離が3~4 Km以上であったので、かなり高射角で撃っているとは思っていたが、土手利用の原始的な発射装置であった。外柵の手前1~2 kmから発射したものもあり、これまでも同じような場所から攻撃を受けているので、なぜそこまで近づけるのか疑問だったが、敷地が広大であるため車両巡察程度の警備しかできないと聞き、止むを得ないと思った。車両巡察程度と書いたが、危険を冒して警備してくれている警備部隊には感謝している。居住区では隣の列のコンテナに、警備部隊の人達がおり、早朝あるいは、真夜中に出発したり、帰ってきたりしている。帰ってきたときには、解放感からか元気な話し声や、武器を整備したりする音が聞こえてくる。司令部とはまた違った、第一線部隊の雰囲気、ここでは感じることができる。
- 3 本日、曇り。バスラ[]名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(2月21日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし [] Threat Level []
2 特記事項	「照明弾らしきものの一連の事案」に関して重点的に情報を収集
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 照明弾事案関連、サマワの治安情勢(特にキャンプ サマワ・スミッティ周辺)、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 群長訪問関連、明日以降の豪軍支援要請関連、[]関連 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし